

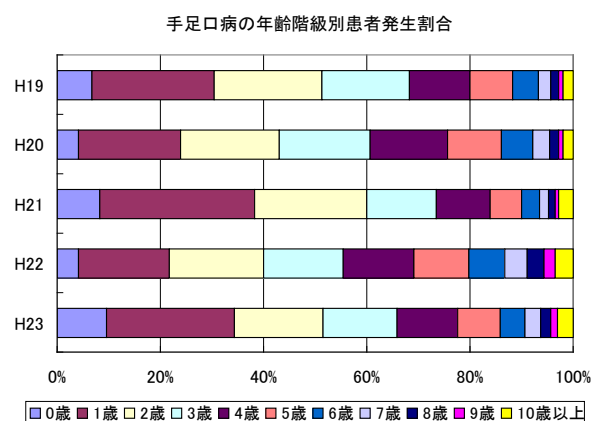
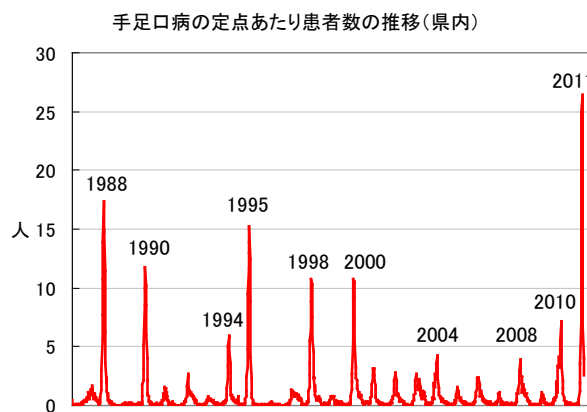
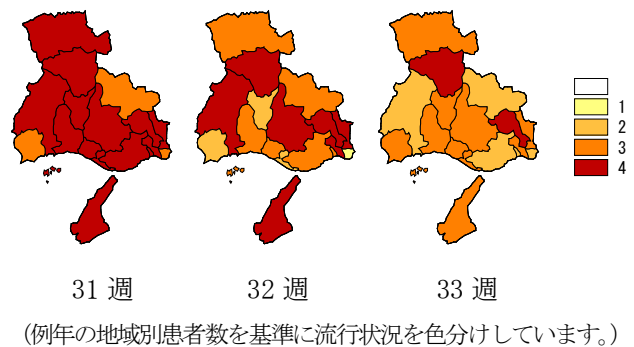
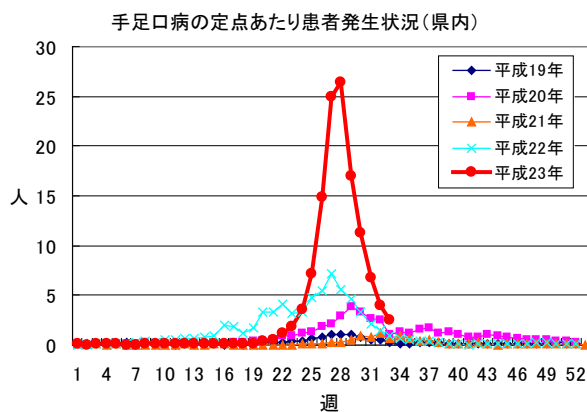
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

手足口病

定点あたり患者数は今週 **2.52人**(先週は4.00人)と5週連続して減少し、定点観測が始まってから最大規模となった流行も収束に向かっています。

地域的にみても、警報レベルである定点あたり患者数5人以上となっているのは伊丹、宝塚、加東、中播磨、朝来の5保健所管内となっています。



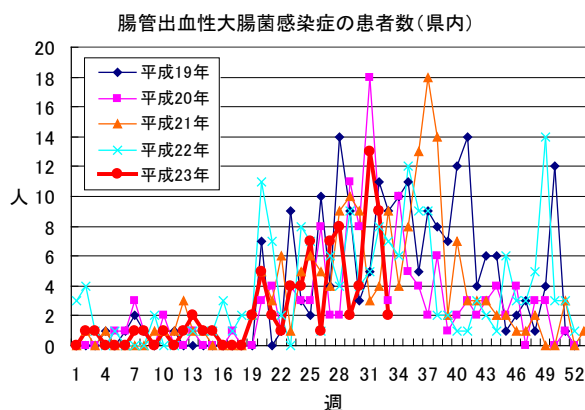
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	手足口病	2.52	4.00	-1.48	6位	突発性発しん	0.47	0.57	-0.10
2位	感染性胃腸炎	2.45	2.75	-0.30	7位	流行性角結膜炎	0.43	0.51	-0.08
3位	流行性耳下腺炎	1.04	0.79	+0.25	8位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.38	0.53	-0.15
4位	ヘルパンギーナ	0.71	1.19	-0.48	9位	無菌性髄膜炎	0.30	0.10	+0.20
5位	水痘	0.57	0.61	-0.04	10位	咽頭結膜熱	0.28	0.40	-0.12

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

腸管出血性大腸菌感染症 

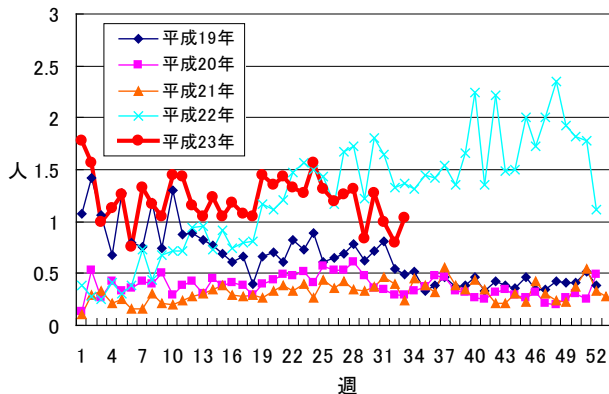
今週は2人の報告がありました。夏場はこの感染症の流行の最盛期となっています。小児・高齢者等は溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症して重症化することがあります。肉・レバーなどの食品はよく加熱し、生食は控える、箸を使い分けるなど、感染予防が大切です。



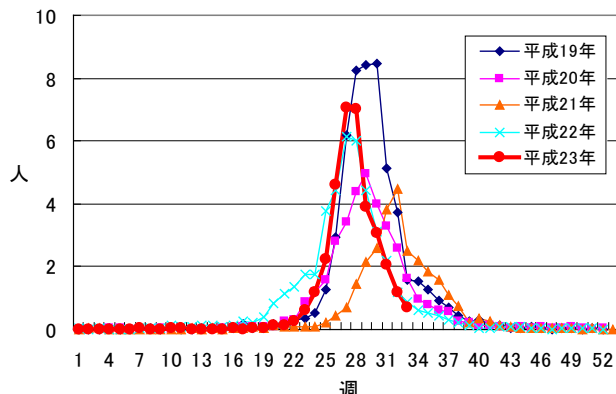
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 39名 （神戸市 26名、尼崎市 2名、西宮市 3名、伊丹保健所管内 2名、宝塚保健所管内 1名、明石保健所管内 1名、龍野保健所管内 2名、福崎保健所管内 1名、丹波保健所管内 1名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2名 （有症者 2名、うち HUS 0名） （姫路市；O157 VT2+ 女性 20歳代、加古川保健所管内；O145 VT2+ 女性 20歳代）（累積報告数 84名；有症者 68名、うち HUS 2名）
4 類感染症	デング熱 1名 （神戸市；デング熱 女性 5歳 感染地域；国外、感染経路；動物・蚊・昆虫等からの感染）
5 類感染症	ウイルス性肝炎 1名 （加古川保健所管内；C型 男性 30歳代 感染地域；国外、感染経路；異性間性的接触）、 ジアルジア症 1名 （宝塚保健所管内；男性 50歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触）、 風しん 1名 （神戸市；検査診断例 女性 40歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明、ワクチン接種歴；無し）
追加報告	結核 15名 （尼崎市 1名、西宮市 1名、芦屋保健所管内 7名、宝塚保健所管内 3名、赤穂保健所管内 1名、丹波保健所管内 1名、洲本保健所管内 1名）、 腸管出血性大腸菌感染症 5名 （伊丹保健所管内；O157 VT1+ VT2+ 女性 20歳代、加東保健所管内；O157 VT1+ VT2+ 女性 50歳代、豊岡保健所管内；O157 VT1+ VT2+ 男性 90歳代、O157 VT1+ VT2+ 男性 70歳代、O157 VT1+ VT2+ 男性 80歳代）、 アメーバ赤痢 1名 （明石保健所管内；腸管アメーバ症 男性 40歳代 感染地域；国外、感染経路；不明、 梅毒 1名 （姫路市；無症候（無症状病原体保有者 男性 60歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）

目で見える動向（県内）

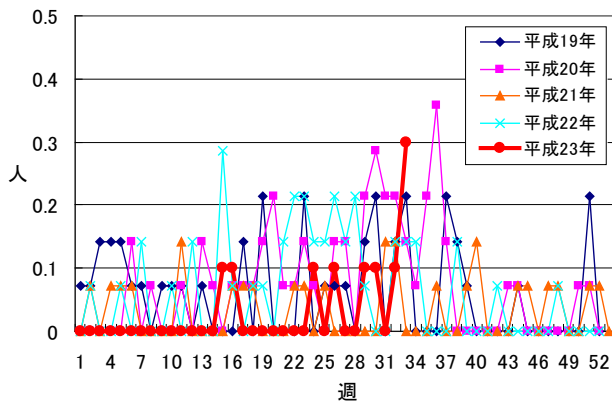
流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況（県内）



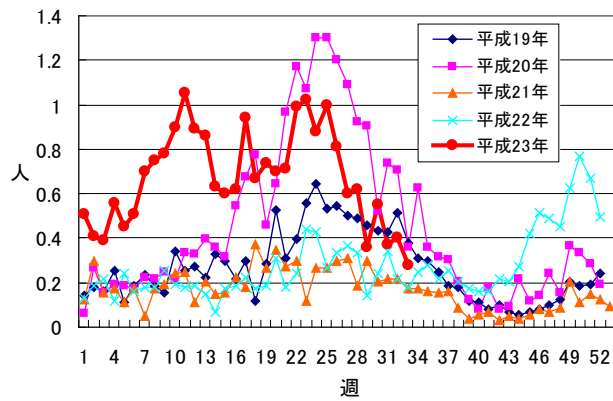
ヘルパンギーナの定点あたり患者発生状況（県内）



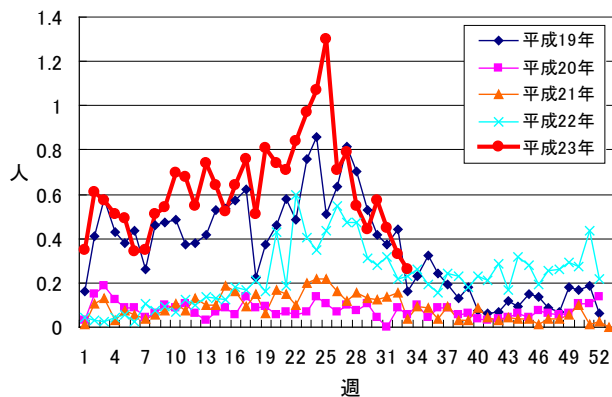
無菌性髄膜炎の定点あたり患者発生状況（県内）



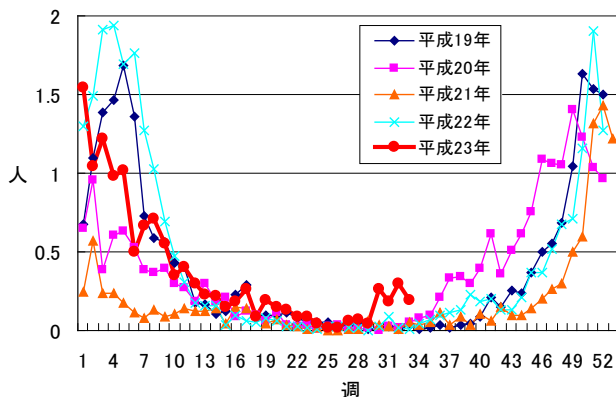
咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況（県内）



冬期を中心に流行する感染症ですが、
今年（2023年）は患者数の増加の始まりがやや早いようです。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。